

2021年度 事業計画書・収支予算書

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

一般社団法人 **日本オートキャンプ協会**

一般社団法人日本オートキャンプ協会

2021 年度事業計画

2020 年度はコロナ禍により、キャンプ業界は大きな影響を受けた。しかしアウトドアで活動するオートキャンプは「3密」になりにくく、また緊急事態宣言などで外出しづらい時期にキャンプがマスコミ等で取り上げられたことから、ユーザーのキャンプへのモチベーションは高まった。そのため年間を通してキャンプ業界のコロナ被害は比較的小さかったと言える。

2021 年度はコロナの感染状況により、まったく不透明である。当協会としては、現在の感染状況が継続した場合と、コロナが収束した場合の両方を視野に入れて事業を進めていく。

キャンプの需要に関しては、個人や企業のキャンプ場ビジネスへの参入意欲が高まっていることから、ユーザーに向けた活動だけでなく、新規参入する異業種に向けても働きかけを行っていく。

また引き続き協会運営の経営基盤を確立するために、既存の事業の見直しと新規事業の拡大を行っていく。

1. オートキャンプの普及促進

(1)アウトドアデイジャパン

①アウトドアデイジャパン 2021 東京

開催期間:2021 年 4 月 3 日(土)~4 日(日)

開催場所:東京都 都立代々木公園 B 地区イベント広場

野外ステージ(東京都渋谷区)

②アウトドアデイジャパン 2021 福岡

開催期間:2021年 4 月 17 日(土)~18 日(日)

開催場所:福岡県 舞鶴公園鴻臚館広場(福岡市中央区)

③アウトドアデイジャパン 2021 名古屋

開催期間:2021年 5 月 8 日(土)~9 日(日)

開催場所:愛知県 名古屋港ガーデンふ頭ひがし広場(名古屋市港区)

④アウトドアデイジャパン 2021 大阪

開催期間:2021 年秋

開催場所:未定

(2) 第 16 回「オートキャンプの日」事業

「オートキャンプの日(毎年 5 月第 3 土曜日、2021 年 5 月 15 日)」を記念して全国のオートキャンプ場において、オートキャンプの普及・発展を促進する各種行事を実施する。

(3) ジャパンキャンピングラリー2021

(JAC 北海道オートキャンプ大会併催)

開催時期:2021 年 6 月 26 日(土)、27 日(日)

開催場所:マオイオートランド(北海道長沼町)

主 管: JAC北海道

(4) 地域ブロック大会の主催

①JAC 北海道オートキャンプ大会

(ジャパンキャンピングラリー併催)

開催時期:2021 年 6 月 26 日(土)、27 日(日)

開催場所:マオイオートランド(北海道長沼町)

主 管:JAC 北海道

②第 21 回オートキャンプ東北交流・体験会

開催時期:未定

開催場所:

主 管:JAC 東北

③JAC 関東の集い

開催時期:未定

開催場所:未定

主 管:JAC 関東

④JAC 東海の集い

開催時期:未定

開催場所:未定

主 管:JAC 東海

⑤JAC 近畿の集い

開催時期:5月29日(土)～30日(日)

開催場所:マイアミ浜オートキャンプ場(滋賀県)

主 管:JAC 近畿

(5) オートキャンプの普及促進並びに会員数増大のための支援・協賛

①増加しつつある 20 代キャンパー、シニアキャンパー、女性キャンパー向けの情報をメールマガジンやホームページなどを通じて充実・強化する。

②支部規程に基づき認定された支部に対し、助成金を交付する。

(6) 会員制度の充実と会員数増大策の推進

オートキャンプロケーションガイド、メールマガジン、ホームページ等の各種媒体による情報提供の充実

① 個人会員

会員割引特典対象キャンプ場の拡充とアウトドア用品販売店等への会員割引制度の導入。一般キャンパーに対する協会主催事業及び共催事業への参加勧誘による入会促進。指導者等を通しての入会勧誘

② 団体会員(オートキャンプ場)

オートキャンプ場経営研究会を通じた会員オートキャンプ場間の情報交換及び交流。未加入のオートキャンプ場に対するあらゆる機会を通じての入会勧誘の実施。

③ 団体会員(用具・用品及び RV・施設関連)

イベント出展案内等によるオートキャンプ関連事業者に対する入会勧誘の実施。

(7) 「観光としてのオートキャンプ」の普及促進

①国策である観光立国推進計画、地方創生を追い風に、協会内はもとより観光庁など外部関連機関との連携により地域の特性を活かしたオートキャンプの振興を図る。

②会員キャンプ場の FICC キャンプ場検索サイトへの登録を推進し、海外への情報発信を強化し、また海外へ情報発信するためのウェブサイトを活用し訪日キャンパーの増加を目指す。

④ 訪日キャンプツアーなど訪日外国人旅行者に対するオートキャンプの促進に向けた取り組みを行う。

(8) 収益事業の拡充

- ・全国約 290 カ所の会員キャンプ場の他、未加入のキャンプ場を含めた全国のキャンプ場のネットワークを活用したサンプリング事業の実施拡充を図る。
- ・キャンプ場運営に必要な用品のあつ旋等の拡充。
- ・リニューアルしたホームページへのバナー広告掲載等広報媒体の活用及びその他の収益事業の開発。
- ・協会が有する資源を活用した出版販売等による収入の拡充。

2. オートキャンプに関する相談及び支援

(1) オートキャンプ場整備事業

公設キャンプ場にイベント用宝くじテント(日本宝くじ協会助成事業)を配布する。

(2) 星マーク認定制度の拡充

- ①星マーク認定制度のオートキャンプ場評価基準に基づき、オートキャンプ場の星マーク認定を行う。
- ②星マーク認定制度の認知度を拡大し認定キャンプ場の増加を目指す。

(3) 公認オートキャンプ指導者の活用促進

会員オートキャンプ場が地域の指導者を活用しやすくする方策として、キャンプ入門教室の開催、各種イベントの実施、繁忙期の支援などを検討する。

(4) オートキャンプ場保険の取扱の推進

オートキャンプ場保険の必要性を研究会、講習会、メールマガジン等を通して告知し、会員オートキャンプ場に対し保険加入の促進を図る。

- (5) キャンプ場経営セミナーの開催とキャンプ場コンサルテーションの実施
キャンプ場建設を計画のある法人、個人向けにキャンプ場経営セミナーを開催。併せてキャンプ場建設にあたっては現地においてキャンプ場建設、運営のコンサルテーションを実施する。
- (6) 地域ブロックキャンプ場フォーラムの開催
オートキャンプ場相互及び協会との繋がりを強くすることにより相互連携の基盤をつくとともに、地域におけるオートキャンプの普及促進を図るための情報交換会としての「地域ブロックキャンプ場フォーラム」を開催する。

3. オートキャンプに関する広報

- (1) メールマガジンの発行
個人会員やウェブサイトから登録されたキャンパー向けにメールマガジン「オートキャンプ」の発行。また団体会員に向けた「JACビジネスレポート」を発行し、ユーザーと団体会員に情報を提供していく。
- (2) 「オートキャンプロケーションガイド」の刊行・配布
全国の会員オートキャンプ場約 290 カ所の特徴や施設の概要などを詳細に紹介する。
発行部数：1 万部、2021 年 4 月 刊行予定
配布先：個人会員、団体会員、会員外キャンプ場、アウトドア用品店、イベント会場等での配布等の他、販売も予定。
- (3) ウェブサイトによる情報の提供
- ① イベントの告知、キャンプ場紹介、リンク情報等をさらに拡充する。
 - ② ウェブサイト上に「公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会」の年間の開催スケジュールを掲載する。
- (4) SNS による情報発信と情報交換・交流
Facebook 等の SNS によるキャンペーンや指導者への情報発信と、キャンパーや指導者間の情報交換・交流を図る。
- (5) 報道機関等への情報の提供
各種イベント、オートキャンプのトレンド等マスメディアへオートキャンプ関係の情

報提供を充実させ、協会の知名度を高める。

4. オートキャンプ指導者の養成研修

(1) 公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会の開催

① 指導者講習会(栃木県)

開催時期: 2021年9月開催予定

開催場所: おやまゆうえんハーヴェストウォーク(栃木県)

主 管: JAC 関東

② 指導者講習会(兵庫県)

開催時期: 2021年11月27日(土)~28日(日)

開催場所: 日本のへそ日時計の丘公園オートキャンプ場(兵庫県)

主 管: JAC 近畿

③ 指導者講習会(東京)

開催時期: 2022年1月

開催場所: 東京

主 管: JAC

(2) 「公認オートキャンプインストラクター資格認定講習会マニュアル」の発行

各地域でコーディネーターが指導者講習会を企画及び実施する際に考慮すべき事項、実施手順、過去の経験を踏まえたノウハウをまとめた開催マニュアルを改訂・配布する。

5. オートキャンプ場経営に関する研究会の開催

(1) 第25回オートキャンプ場経営研究会の開催

開催時期: 2022年2月

開催場所: 未定

6. オートキャンプに関する情報の収集・提供及び調査研究

キャンパー、キャンプ場へのアンケート等を実施し、オートキャンプの過去・現在・未来を浮き彫りにし、その結果をキャンプ関係者等に公表する。

(1) アンケート調査の実施

キャンパーの意識調査、用具・用品及び RV・施設関連、オートキャンプ場の実態調査を実施する。アンケート結果は、当協会発行の「オートキャンプ白書」の基本データへの活用や、オートキャンプの普及促進に活用するとともに、他への活用も検討する。

(2) 「オートキャンプ白書 2021」の発行

アンケート調査結果を分析した「白書」を発行し、オートキャンプを取り巻く環境の現状をマスメディア等を通し広く社会にアピールする。

(3) 「オートキャンプ白書 2021」発表会の開催

マスメディア等に白書概要を発表する場を設け、オートキャンプの広報を強化する。また、オートキャンプ場や用具・用品メーカー、キャンパー等の意見や声を集約するとともに、必要に応じて関係官庁・団体に陳情等を行う。

7. 関係団体との連絡提携

(1) 官公庁との連絡提携

国土交通省をはじめとして観光庁、文部科学省、スポーツ庁、総務省、環境省及び地方公共団体等との連携を強化する。また、国及び地方公共団体が実施する事業へ積極的に参加し、連携の強化を図る。

(2) 関係団体との連絡提携

自動車関係団体、観光関係団体、スポーツ・レクリエーション、アウトドア関係団体との連携を強化する。また、公益社団法人日本観光振興協会主催の「観光立国推進協議会」に参画し、オートキャンプツーリズムの確立を図る。

8.国際関係

(1)FICC 第 90 回 FICC オートキャンプ世界大会

開催時期:2021 年 9 月 3 日(金)~9 月 12 日(日)

開催場所:スペイン・ガリシア州ア・グアルタ

(2)FICC 総会

開催時期:2021 年 未定

開催場所: 未定

(3)第 20 回 FICC アジア・パシフィック大会

開催時期:2021 年10月15日(金)~10月19日(火)

開催場所: 韓国 チャンウォン市 ロボットランドパーク

(4)FICC アジア・パシフィック委員会

開催時期:2021 年10月

(第 20 回 FICC アジア・パシフィック大会期間中に開催)

開催場所: 韓国 チャンウォン市 ロボットランドパーク

2021年度収支予算書(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

収入

(円)

大科目	中科目	2021年度予算	2020年度予算	増減	備考
会費収入		21,928,000	22,474,000	▲ 546,000	各会費
	正会員	21,028,000	21,724,000	▲ 696,000	
	賛助会員	900,000	750,000	150,000	
助成金収入		11,000,000	8,800,000	2,200,000	
	国庫助成金	0	0	0	
	民間助成金	11,000,000	8,800,000	2,200,000	
事業収入		43,743,000	15,710,000	28,033,000	
	アウトドアデイ東京	17,200,000	0	17,200,000	出展料等
	アウトドアデイ大阪	2,000,000	0	2,000,000	出展料等
	アウトドアデイ福岡	2,625,000	0	2,625,000	出展料等
	アウトドアデイ名古屋	4,035,000	0	4,035,000	出展料等
	広告料収入	4,385,000	3,500,000	885,000	
	書籍販売	4,605,000	4,160,000	445,000	オートキャンプ白書・建設マニュアル
	指導者更新料	1,134,000	1,160,000	▲ 26,000	
	指導者講習会	1,882,000	1,080,000	802,000	
	経営研究会	200,000	600,000	▲ 400,000	
	星マーク	132,000	150,000	▲ 18,000	
	木炭販売	0	110,000	▲ 110,000	
	焼肉クリーン	107,000	180,000	▲ 73,000	
	サンプリング手数料	3,200,000	2,670,000	530,000	
	調査料(コンサル)	1,519,000	1,000,000	519,000	
	その他	719,000	1,100,000	▲ 381,000	キャンプ講習会・物販
雑収入		687,000	631,000	56,000	キャンプ場保険等
収入合計		77,358,000	47,615,000	29,743,000	

支出

大科目	中科目	2021予算	2020年予算	増減	備考
事業費		57,048,000	30,205,780	26,842,220	
	事業管理費	10,677,000	10,900,280	▲ 223,280	職員給与等
	普及促進費	25,502,000	880,000	24,622,000	アウトドアデイ・全日本大会
	相談及び支援事業	11,417,000	8,850,000	2,567,000	宝くじテント
	養成研修費	328,000	800,000	▲ 472,000	指導講習会・経営研究会
	広報活動費	2,205,000	1,300,000	905,000	ウェブサイト・ガイドブック
	調査研究費	1,459,000	1,585,000	▲ 126,000	白書アンケート
	連絡提携費	685,000	495,500	189,500	FICC関連
	事業費用	4,090,000	4,710,000	▲ 620,000	物販・サンプリング・業務委託
	減価償却費	685,000	685,000	0	ウェブサイト
管理費		20,310,000	23,509,420	▲ 3,199,420	
	給料手当	8,496,000	8,439,720	56,280	職員給与等
	退職金掛金	540,000	307,200	232,800	職員退職金積立金
	福利厚生費	1,376,000	1,467,000	▲ 91,000	
	会議費	539,000	548,000	▲ 9,000	総会・理事会。常任理事会
	旅費交通費	9,000	50,000	▲ 41,000	都内交通費
	通信運搬費	919,000	930,000	▲ 11,000	
	印刷製本費	7,000	20,000	▲ 13,000	
	備品購入費	300,000	30,000	270,000	
	消耗品費	125,000	550,000	▲ 425,000	事務用品等
	賃借料	3,560,000	3,941,600	▲ 381,600	家賃・コピーリース
	光熱水費	264,000	282,000	▲ 18,000	
	渉外費	3,000	4,000	▲ 1,000	
	雑費	1,098,000	1,100,000	▲ 2,000	振込代
	租税公課	1,700,000	2,790,000	▲ 1,090,000	
役員退職給付引当費用		1,374,000	3,049,900	▲ 1,675,900	
支出合計		77,358,000	53,715,200	23,642,800	
収支差額		0	▲ 6,100,200	6,100,200	

(注記)借入限度額は500万円とする(財務規程第14条第3項による)